

「佐野市民病院の概況」に関する回答補足資料

(1) 質問一覧 P 1 ②【上岡良雄委員】関係

・高度急性期病棟とは

急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供する機能（救命救急病棟、集中治療室、ハイケアユニット、新生児集中治療室、新生児治療回復室、小児集中治療室、総合周産期集中治療室であるなど、急性期の患者に対して診療密度が特に高い医療を提供する病棟。

平成27年度までは詳細基準が示されていなかったため市民病院も該当していましたが、H28からは非該当となりました

・急性期病棟とは

急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、医療を提供する病棟。

平成28年度に国の基準が改正され、市民病院の高度急性期病棟は全て急性期病棟となりました。

(2) 質問一覧 P 1 6 ①【島田委員】、②【林委員】関係

P23、事例3件の経過

○ 東京ベイ・浦安市川医療センター（旧浦安市川市民病院）

平成21年 4月 民設民営に移行

診療科目 27科目（旧15科目から増）

病床数 344床（一般病床340床 感染病床4床（既存の病床数））

平成23年11月 二次救急輪番制へ加入

平成24年 4月 建て替えによる新病院で診療開始

平成27年 4月 災害拠点病院となる

高齢化への対応、救急医療、小児医療、周産期医療の提供により、住民に安心して安全な医療の提供を行っています。

○ TMG 宗岡中央病院（旧志木市民病院）

平成26年 4月 民設民営に移行

平成27年 9月 新病院診察開始

診療科目 5科目（不採算診療科2科について整理（麻酔科、皮膚科））

病床数 100床（一般病床60床 回復期リハビリテーション病床40床）

透析13床開設（新設）

急性期から慢性期、救急医療、リハビリ、健診、在宅医療まで地域に密着した医療を行い、地域のニーズに応え、住民に信頼される病院として医療を提供しております。

○ 常磐病院（旧いわき市立常磐病院）

平成22年 4月 民設民営に移行

診療科目 17科目

病床数 240床（一般病床120床、療養病床120床）

譲渡後 PET（ペット）センター、透析センター（136床）を増設し、高度医療の提供を行っています。診療科目の見直しを行い、透析を中心とした病院として立て直しを行いました。

※PETは非常に高価なため、各県3～4台程度しかない、高度ながん検査機器です。